PASSLOGY™

CORPORATE PROFILE

パスロジ株式会社　会社案内

誰もが安心して
ITを利用できる社会を目指して

日常的に行われている「ログイン」、「サインイン」といった作業「本人認証」。
社会のIT化が進む今、この本人認証を司るシステムの重要性が増大しています。
パスロジは、本人認証システムの研究開発を通して、社会に貢献することを活動目標としています。

中核となる認証技術は「知識認証」

パスワードや暗証番号は「本人の記憶」を使う本人認証「知識認証」です。パスロジは「記憶したパターン」を使う「パスロジック方式」を中核に製品開発を行っています。

知識認証の特徴は、認証用デバイスが不要で、導入・管理のコストが削減されること、「持っているもの」を使う「所有物認証」や、「身体的特徴」を使う「生体認証」と組み合わせが可能なことが挙げられます。

高セキュリティと高ユーザービリティの両立

99% の本人認証率では、1/10　0 でハッキングや誤認の可能性が残ります。この数字を100%に近付けるために、例えば認証方式の組み合わせを行いますが、利用者や管理者の負担、そしてコストは増大します。

このようなセキュリティとユーザービリティの対立は本人認証の課題です。パスロジは、100%の本人認証率と、低コスト・低負担の両立の実現を目指します。

完全自社開発、国内開発による安心

本人認証は、今や組織のインフラとなり、導入後のサポート体制が重要です。

パスロジ製品の中核システムには独自技術が用いられており、開発も自社内で行われています。サポートも開発エンジニアが対応します。

また、日本国内で開発されているため、海外各国の政府・団体の影響を受ける可能性が低く、日本社会において重要な役割を持つ組織でも、安心してご利用いただけます。

パスロジは、以上のような「技術・思想・体制」をもってオリジナリティの高い製品を提供しています。
パスロジック方式を使用した製品は、国内累計117万ユーザーに利用され、新しいマーケットを創出しました。
取得した特許技術も、ほとんどが基本特許で、その種類は26件、全世界で78件となり、
国際的にもオリジナリティが評価されています。
今後も、研究開発、製品提供を通じて、誰もが安心してITを利用できる社会の実現に貢献してまいります。

パスロジの歩み–沿革–

1997年	•当社代表小川秀治が「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム「パスロジック方式」を発明
2000年 2月	•パスロジ株式会社の前身「株式会社セキュアプロバイダ」設立
2000年10月	•パスロジック方式を利用してワンタイムパスワードを生成するシステムが米国特許（US6141751）を取得
2004年 4月	•認証サーバーソフトウェア製品「PassLogic-AS」販売開始
2006年 2月	•社名を株式会社セキュアプロバイダから「パスロジ株式会社」に変更
2006年 5月	•パスロジック方式を2経路で認証するシステムが日本国特許（JP3809441）を取得
2007年 6月	•認証サービス「パスロジ！ASP」が「INTEROP TOKYO 2007」でセキュリティ部門特別賞受賞
2007年12月	•認証サーバーソフトウェア製品「PassLogic」販売開始
2014年 6月	•認証サーバーソフトウェア製品「PassLogicエンタープライズ版」販売開始
2014年10月	•個人用認証管理アプリ「PassClip」提供開始
2014年11月	•パスロジック方式利用製品の発行ライセンス数が累計100万件を突破
2017年 4月	•認証セキュリティ情報サイト「せぐなべ」運営開始
2017年 9月	•1週間や1カ月などの単位でパスワードを自動更新する技術「TACP」が日本国特許(JP6207797）を取得
2018年12月	•東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場

“セキュリティ”と“業務・管理の効率UP”を
ワンストップで実現！

PassLogic

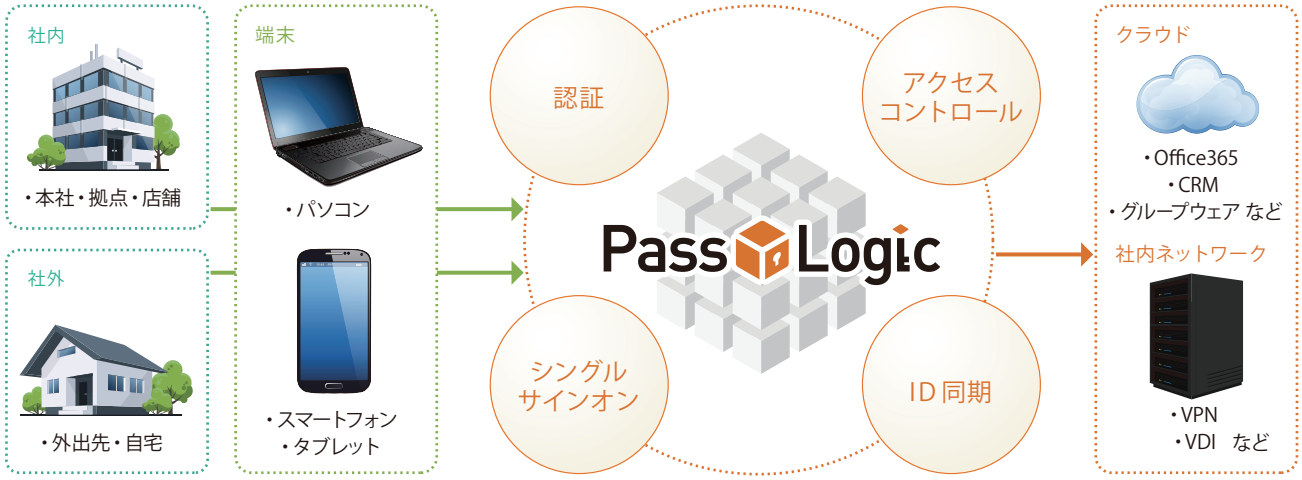
パスロジック

発行ID数 117万ID 以上

200社 以上の 企業・団体が 導入

16の クラウド サービスに 採用

PassLogicは、トークンレス・ワンタイムパスワードなど、さまざまな認証方式による「認証」、クラウドサービスや社内ネットワーク上のサービスに対応する「シングルサインオン」、Active Directory や LDAP などとの「ID同期」、業務内容や役職などによりアクセス可能なシステムを振り分ける「アクセスコントロール」の機能をワンストップで提供する認証システムです。



トークンレス・ワンタイムパスワードを実現する「パスロジック方式」

画面に表示された乱数表から、あらかじめ決めておいたマス目の位置と順番「パターン」に沿って、数字を抜き出し、つなげた数列をパスワードとして入力します。乱数表の数字が認証のたびにランダムに変わるので、入力する数列も毎回変わり、ワンタイムパスワードとして成立します。

PassLogicの特徴

- 利用者はパターンを覚える「知識認証」
- 認証用デバイスが不要。利用者の負担と管理コストが削減
- 入力を後ろから見られるショルダーハッキングに強い

▼乱数表画面

PassClip

パスクリップ
iOS/Android

「パターン」ひとつで、たくさんのパスワードを管理！

PassClipは、パスロジが個人向けに無償提供しているスマートフォン用認証管理アプリです。

PassClipの特徴

- いろいろなサービス用のパスワードを4マスのパターンを覚えるだけで管理
- パスワード確認画面を誰かに見られても問題ありません
- マスターパスワードや指紋認証は不要

認証セキュリティ情報サイト

せぐなび
Segurança Navegador

認証に関する基本的な知識や最新情報を、楽しく、分かりやすく伝えるウェブサイト

https://www.segunabe.com/

会社概要 | COMPANY OVERVIEW

社名	パスロジ株式会社 Passlogy Co.,Ltd.
代表者	代表取締役社長　小川 秀治
設立	2000年2月24日
資本金	1億円
上場区分	東京証券取引所　TOKYO PRO Market（証券コード4426）
従業員数	22人
業務内容	セキュリティソフトウェア開発販売
加盟団体	フィッシング対策協議会 Stop Think Connect SSFC／Shared Security Formats Cooperation 日本カード情報セキュリティ協議会 FIDO Alliance
主要取引先	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 株式会社インターネットイニシアティブ 株式会社NTTPCコミュニケーションズ 株式会社サーバーワークス CTCシステムマネジメント株式会社 新日鉄住金ソリューションズ株式会社 ソフトバンク株式会社 ソフトバンク コマース&サービス株式会社 TIS株式会社 ディーアイエスソリューション株式会社 日本電気株式会社 日本ビジネスシステムズ株式会社 株式会社ネットワールド 富士通株式会社 株式会社ユニバーサルコムピュータシステム （50音順・敬称略）
主要な取得特許	US 6141751 JP 3809441 JP 4994752 JP 5276658 JP 5906363 JP 6207797
特許権取得数	【26件】日本 【10件】米国 【4件】中国 【3件】イギリス、韓国、オーストラリア、スペイン、ドイツ、フランス 【2件】カナダ 【1件】オランダ、シンガポール、スイス/リヒテンシュタイン、フィンランド、メキシコ、アイルランド、イタリア、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、トルコ、ベルギー、モナコ、ルクセンブルク、マレーシア、インドネシア、フィリピン、台湾　【合計78件】（2018年12月時点）

IS 697637 / ISO 27001

所在地	東京都千代田区神田小川町3-26-8 ユニゾ神田小川町三丁目ビル
電話番号	03-5283-2263（受付時間 10:00～17:00［土・日・祝休］）
ウェブサイト	https://www.passlogy.com/

PASSLOGY™

2018年12月作成

©Passlogy Co., Ltd.
※本案内に掲載されている商品名・サービス名・会社名は、各社の商標または登録商標です。